第 33 回機器･配管系検討会　議事録

1. 日時　平成 20 年 7 月 4 日（金）10:00～12:00
2. 場所　日本電気協会　4 階 D 会議室
3. 出席者（順不同，敬称略）

出席委員　：原主査（東京理科大学），藤田副主査（東京電機大学），植田幹事（日本原子力発電），吉井（北海道電力），上野（北陸電力），波木井（東京電力），堤(中部電力)，小江(関西電力)，田村（中国電力），池田（四国電力），遠藤（日本原子力発電），岩田（電源開発），堀内（原子燃料工業），中島（東芝），吉賀（三菱重工業）　（計 15 名）

代理出席　：八木（九州江藤代理），行徳(日立 GE ﾆｭｰｸﾘｱ･ｴﾅｼﾞｰ･鈴木代理)，定廣(富士電機ｼｽﾃﾑｽﾞ尾崎代理）　（計 3 名）

欠席委員　：飯田（東北電力）　（計 1 名）

オブザーバ：戸村（日本原子力発電)　（計 1 名）

事務局　：糸田川（日本電気協会）　（計 2 名）

4. 配布資料

資料 No.33-1　第 32 回 機器・配管系検討会 議事録（案）

資料 No.33-2-1　鋼板コンクリート構造耐震設計技術規程(JEAC4618-200X) コメント及びその対応(案)

資料 No.33-2-2　鋼板コンクリート構造耐震設計技術規程(JEAC4618-200X)（案）－第 1 章，第 3 章

資料 No.33-3-1　JEAC4601(案)書面投票反対意見対応等内容変更に伴う 2 次投票の実施について

資料 No.33-3-2　JEAC4601(案)書面投票反対意見対応等内容変更に伴う 2 次投票の結果について

資料 No.33-4-1　分科会承認版→公衆審査版で変更された箇所

資料 No.33-4-2　原子力規格委員会第 2 回書面投票における意見

(番号なし)　第 31 回耐震設計分科会議事録案，第 29 回原子力規格委員会議事録案

5. 議事

(1) 定足数の確認

事務局より，代理出席者 3 名が紹介され，規約に基づき原主査の承認が得られた。また，委員総数 19 名のうち代理出席を含む出席委員は 18 名で，委員総数の 3 分の 2 以上であり，議案決議の定足数を満たしていることを確認した。

(2) 前回議事録（案）の承認

事務局より，資料 No.33-1 に基づき，前回議事録（案）が読み上げられ，以下の修正を行った上で正式議事録とすることが，全員の挙手により承認された。

（修正箇所）

・2 頁下 7 行目 6. その他　(1)のタイトル中の表現：分科会→耐震設計分科会

(3) 鋼板コンクリート構造耐震設計技術規程(案)に対するコメント対応案の審議（資料 No.33-2-1,2)

植田幹事より，5 月 23 日の耐震設計分科会では 9 件の委員コメント（建築関係コメントを含む）があったが，6 月 24 日の原子力規格委員会への中間報告では特に委員コメントがなかった旨の経過報告があった。その後，戸村氏(日本原子力発電)より，建築関係コメントを除く第 1 章および第 3 章に関するコメント内容とその対応案について，資料に基づき説明が行われ，審議した。本日のコメントを反映の上，次回 7 月 18 日の耐震設計分科会に諮ることが，全員の挙手により承認された。

（主なコメント）

〔資料 No.33-2-1〕

・1/15 頁 1.4 基本方針の本文にある「・・・耐震設計審査指針に適合するよう耐震設計を行う。」という記述は，JEAC4601 の記述と整合が取れていないので見直すこと。また，変更

理由欄の「分科会コメントによる」は，コメント番号を追記すること。

・4/15 頁上 3 行目の「設計においては」は「設計は」とする。

・6/15 頁の図の説明は，どれが変形モードかわかるように見直す。

・7/15 頁の図中で，裕度 10 倍との関係がわかりにくい。工夫が必要。また，疲労破損防止による荷重比制限の図は不要ではないか。

・13/15 頁上 9 行目：「スタッド頭部のシアプレートに接する」→「スタッド頭部に接する」

・14/15 頁 3.3.2 サポート定着部の剛性の算定(1)の 3 つのパラグラフのうち，第１と第２パラグラフは一つに纏めること。また，3 つ目のパラグラフも，繋がりが良くなるよう見直す。

・15/15 頁は変更前後の内容が不整合であるので，修正すること。

〔資料 No.33-2-2〕

・ 1.1-1 頁上 8 行目の「機器･配管系支持構造物」の ” 系 “ は不要ではないか。整理しておくこと。

・ 1.1-2 頁上 9 行目の「機器支持定着部」は，「サポート定着部」ではないのか。

・ 1.3-1 頁下 14 行目の「機器･配管系サポート」は，「支持構造物」の方が良いのではないか。あるいは，「サポート定着部」と合わせてはどうか。

・ 3.2-2 頁の解図 3.2.2-1 サポート荷重と表面鋼板変形モードに，3.2-6 頁の解図 3.2.2-3 にあるような絵を追加して理解し易くすること。

・ 3.2-7 頁の解図 3.2.2-4 において，ＭＫＳ単位が残っている。ＳＩ単位に修正すること。

・ 3.2-24 頁上 17 行目：「以下のいずれかの方法」→「以下の(1),(2)のいずれかの方法」とした方がわかり易いのではないか。

・ 3.3-2 頁上 2～6 行目の 5 行の文章は不要に付き削除した方がよいのではないか。

(4) JEAC4601 制定案に関する原子力規格委員会書面投票反対意見対応および 2 次投票について (資料 No.33-3-1，2)

事務局より，資料に基づき，提案者が 1 次投票の反対意見者対応を行った結果，反対票は取り下げられたが，内容変更にともない 2 次投票(再投票)を実施したところ，反対票が 1 票，保留票 1 票で可決された旨の報告が行われた。

(5) JEAC4601 制定案に関する原子力規格委員会 2 次投票における意見への対応について (資料 No.33-4-1,2)

植田幹事より，資料に基づき，JEAC4601 制定案の 2 次書面投票において出された意見への対応(案)の説明があった。7 月 18 日の耐震設計分科会において反対意見者への対応が審議される予定である。

6. その他

(1)次回開催日について

次回(第 34 回)検討会の日程は，7 月 18 日の耐震設計分科会における審議結果を踏まえ，別途調整することとした。

以　上